平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)												
事務	務事業名	後期高齢者医療費負担金に要する経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							<b>会計</b> 一般	款 項 目 多額   3 1 6		
	政策	11誰もが優	康に暮らせる	生涯福祉社会をつくります						保険年金課		
	施策	115	安心して暮らせ	るネ	生会保	障の充	実		担当課室長	佐山 佳明		
1 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t-X	りの方気	6)						
1前回		象の確保に関す			, . , , , ,	107						
の評価	条により、市	の医療費負担に	は、法定負担									
で掲げた内容	割台の12分 いる。	の1を負担する	ことになって		③平成 度に取	組む				保に関する法律 負担金を支出す		
②①に 基づく 取組み 結果	条により、市	僚の確保に関す 町村負担金を約			改革•i 内容	改善	あ。 る。	不に坐	JC()	Д <u>г</u> ше СХШ ў		
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要										
①目的	対象	後期高齢者医療	聚保険被保険者		図(対象 るのか)	をどう				保険者が安心し ができる。		
②事務事	②事務事業の概要 後期高齢者医療の運営は広域連合が行い、市は医療費の法定負担割合の12分の1を負担する。											
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)		高齢者医療制態しくなっている		が創設す	された	が、年々	∀被保	険者数	が増加し財源を		
Ⅲ 事務												
①平成2	7年度の事 関		、高齢者の医療 事務を滞りなく									
②成果			票名称	年度 年度 年度			単位	414 7h 11	算定根拠			
を表す	1	<b>决</b> 算見込額	預÷受給者数		59	55	59	千円	業務取得			
指標	ii											
	iii											
③事務事	業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平	成27年	度決算	(事業費	)の主	な内訳	平成28年度予算		
事業費(-		611,030			金額(千			内容		719,114		
	出金(千円)	011,000	611,030 636,004			656,004			<b>当</b> 扫	,		
	出金(千円)					00,004	<b>冰</b> 战机	יא נוו	~ 1=			
	での他(千円)	244 222	252224							710114		
	<u> </u>	611,030	656,004	_						719,114		
<u>Ⅳ 評価</u>	i•検討											
①課題(る現状な	目的に対す ど)	被保険者の増	加により財源を	確係	呆するこ	ことが漢	惟しくな	ってい	る。			
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価 6精査・検証		
③上記評	平価の理由		<u>る高い</u> の確保に関する		75			いる。				
Ⅴ 多額	の経費を重す	る事業等の「実	『梅計画 ルセル	+ス	達成出	沿						
V 夕蝕	Ⅵ吐貝で女り	♥す木ザリップ	ころの一日二十一のこ	1 W			<b>由事</b> 型	建のよ	1:口/2	(位, 壬田)		
①平成2	7年度の計画			計画	半 平 事業費	<b>火2/</b> 牛	予算額		人况(毕	(位;千円) 決算額		
②計画に対	対する事業実績						当初 H26⇒27繰越			H26から の繰越		
③達成物	犬況					0	補正		0	現年分		
④未完了·	・非着手の理由			平成	28年度への	)繰越額(隼	流用·充当 位;千円)			20 T 7J		

	<u>*</u>	4成28年度 鐦	ソイヤサ物争	未計	一凹衣	(争仮)	(保华	计训办	<u> </u>				
事系	<b>务事業名</b>	後期高	会計 一般	款 項 目 多額 経費   3 1 6									
	政策	11誰もが優	康に暮らせる	生涯	福祉社	保険年金課							
	施策	115	安心して暮らせ	る社	会保	障の充	実		担当課室長	佐山 佳明			
I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)													
1)前回		よ、広域連合規				<b>N</b> /							
の評価		る、仏域建日院 合が①均等割1											
144 1					ை <b>ப</b>	÷00/=							
で掲げ		市の後期高齢	百人口剖50%		3平成		広域道	自己規約	約に基	づき、負担金を			
た内容	と定められて	いる。			度に取					・市の人口割・市			
②①に 基づく 取組み 結果	びく 広域連合規約第18条により市町村負担 金を納付した。					改善			者人口				
Ⅱ 事務													
				李回	1/計學	たじこ	<b>後</b> 押 =	歩小	左皮地	保険者が安心し			
①目的	対象	後期高齢者医療	聚保険被保険者		l(対象 のか)	をどう				保険有が安心し ができる。			
②事務事	②事務事業の概要 後期高齢者医療制度を運営する広域連合の運営費として市町村負担金を納付する。												
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)		高齢者医療制 難しくなっている		創設。	された	ー が、年	マ被保	 険者数	が増加し財源を			
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
		# ID A - +T. I			<b>.</b> .					> 1 1 75 5 345			
①平成2 業の成界	7年度の事 関		広域連合規約第 町村負担金を糾					いるので	ご、決め	られた事務を滞			
②成果		指標	票名称	平成25 平成26 平成27 年度 年度 年度			単位	单位 算定根拠					
を表す	i	決算見込額	頂÷受給者数	2,430 2,460						7得			
指標	ii												
111/1/	iii												
③重務国	業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平点	727年	度決質	(事業書	かり の主	な内訳	平成28年度予算			
事業費(=		27,385			·額(千		( + ~ 5	<u>//                                   </u>	. WI 1 1 W	34,643			
	<u>[日)</u> 出金(千円)	27,300	29,403	317			広域連合		台中人	34,043			
					-	۷۶,403	四以建门	⊒ ጠሥሀ ተን	只但亚				
	出金(千円)												
	その他(千円)	07.00	00.400							04.040			
	<u> </u>	27,385	29,463							34,643			
<u>Ⅳ 評価</u>	i•検討												
①課題(る現状な	目的に対す (ど)	負担金の額は 源を確保するこ	広域連合規約st とが難しい。	第18	条に。	より決る	まってま	らり被係	<b>않</b> 人	り増加により財			
@== :==		i 市関与の妥当性	3高い	iii 4	平性		3高い			LA			
②評価			3高い		<del>)。</del> b 率性		3高い		─ <mark>∨総合評価</mark> 6精査・検証				
③上記記	平価の理由		こより負担して(				- 11-1						
77 夕空	の奴弗を再せ	「る事業等の「実	2佐計画 リーナン	+ Z .'5	F 다. IT	-:-							
V 多額	い社貝と安 9	る事未守の一夫		/ <b>る</b> ほ			<b>在古</b> 罗	非のよ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(4. 4円)			
①平成2	7年度の計画			=1:±:		攻2/年			人况(早	位;千円)			
				計画	事業費		予算額	Į.		決算額			
	対する事業実績						当初 H26⇒27繰越			H26から の繰越			
③達成物	大況						補正			現年分			
④未完了	・非着手の理由			平成28	年度への	)繰越額(単	流用·充当 位;千円)						
								•					

平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)													
事務	§事業名	後期高齢者保健事業に要する経費								款 項 3		多額経費	
i	政策	11誰もが優	康に暮らせる	生涯	<b>돌福祉</b> 礼	土会を	つくりま	す	担当課室	保険年	F金i	果	
	施策	115	·るネ	社会保	障の充	実		担当課室長	佐山 佳明				
I 改革	·改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	t=&	りの方質	<b>策</b> )							
①前評場内でたる ② 基取組果	国の実施基準式で行う。	集に基づき健康 こ対して説明会	診査を個別形		③平成度に取改革・ 内容	t28年 X組む	形式で 歯科ロ 防事業	で行い、 1腔健語	基づき健康診査を個別 、また平成28年度から 診を実施する。保健予 C訪問事業を継続事業 「る。				
	事業の目的・	概要					•						
①目的	対象	後期高齢者医療	聚保険被保険者		図(対象 るのか)	をどう	生活習	冒慣病	等の早	期発見	,		
②事務事	<b>事業の概要</b>	実施主体である											
からの状況見込み・市	が析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	とした保健予防	、医療費の増え	大に	こも資す	ること	から開						
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況											
①平成2 業の成果	7年度の事 !	千葉県後期高	齢者医療広域返	重合	さ連携	し、契	約事務	を適正	に行っ	た。			
②成果			票名称	年段   年段   年段			単位						
を表す 指標	i ii iii	<b>党</b>	<u>参者数</u>		3,943 3,853 4,124 人				業務取得				
③事務事		平成26年度決算	平成27年度決算	平	成27年	度決算	(事業費	引の主	な内訳	平成2	3年度	予算	
事業費(		35,772	38,142	A 1- 1			内容					5,078	
	出金(千円) 出金(千円)							診査	委託				
市債そ	の他(千円)	05 770	00 1 40								6	5,078	
IV 評価	<u>∤源(千円)</u> • 検討	35,772	38,142								C	J,U / O	
	目的に対す	受診率を上げる	ることが課題でる	ある	)								
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 1低い	iii 公平性   3高い   v 総合評価   6精査						情査	∙検証		
③上記評	呼価の理由	医療機関と連携	携をとり、健康診	含	事務を	迅速に	進めた	<b>5</b> 0					
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画』におけ	<u> </u>	達成状	:況_							
	7年度の計画						度事業 予算額		犬況(革	位;千 決算			
②計画に対	対する事業実績			414	コデ不具		当初			<b>八</b> 昇 H26か の繰起	ò		
③達成物	沈						H26⇒27繰越 補正			現年分			
④未完了·	非着手の理由			平成	28年度への	)繰越額(単	流用·充当 位;千円)		<u> </u>				

平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)													
- <del></del> -	5 NI			1		会計	款	項	目	多額経費			
事務	务事業名		国民年金事務	に要す	る経費			一般	3	1	7	<u>作                                    </u>	
	政策	11誰もが仮	生涯福神	止社会を	つくりま	す	担当課室	保防	食年:	金課			
	施策	115	安心して暮らせ	る社会	保障の充	実		担当課室長	佐L	山 信	と明		
I 改革	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ためのフ	5策)								
①のでた ②基取結回価げ容にくみ	国民年金に対象を表し、る。民年のは、国民をは、国とのは、国とのは、国際をは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	③平成28年 度に取組む 改革・改善 内容 国民年金に対する住民の不満や不 安を軽減するため、迅速かつ正確 な対応に努める。窓口における年 金相談の充実を図る。											
Ⅱ事務	事業の目的・	概要											
①目的	対象	市内に住所のある20 被用者年金制度に加 礎年金を請求する者	ロ入していない者。基	意図(対 するのが	†象をどう い)	り、情報の		が正確な記 問知が可 でながる。					
②事務事	事業の概要		険者の資格異 保険料免除申請									裁	
からの状況見込み・市	予析(事業開始 記変化や今後の i民意向など)	き下げ及び保険 務の充実を求め	る不信による滞 料の引き上げが られることが予想	見込まれ	いる。各種								
<u></u> 単	事業の成果な	やコストの状況											
①平成2 業の成身	7年度の事 限		納者の増加防」 はを上回る申請				対象に	動めて	いる	申請	免除	余に	
②成果			票名称	平成 年度	25 平成26 年度	平成27 年度	単位	算定根拠					
を表す	i		被保険者数	25,5			* *	国民生					
指標	ii		<b>呆険料納付率</b>		60.9			国民年金事業統計				<b>├表</b>	
	iii		料免除進達件		94 6,098	4 Alla		業務耳					
	事業のコスト		平成27年度決算			(事業質		な内訳	平原	灭28年			
事業費(-		8,033	8,112	<b>金</b> 額	(千円)	<b>国</b> 日 石	内容	ケモデ				,156	
	出金(千円)	8,033	8,112			国民年					ŏ	,156	
	出金(千円)				2,464	<b>国</b> 大4	-並オノ	フィン					
	その他(千円)					1							
IV 評価	<u>才源(千円)</u> i. <del>t</del> 会=+					<u> </u>							
	目的に対す	多くの加入届や	ウ 免除申請等の の課題である。	提出が	あるが、	いかに	効率的	かつ低	コス	くトで	処理	で	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	2普通 2普通	iii 公平 iv 効率		2普通 2普通		∨総合評価 6精査・検証					
③上記記	平価の理由		のため、業務手	法等に	ついて精	•	正の上	、事業	を継	続す	る。		
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「多	『施計画」におい	ける達成	状況								
	7年度の計画	2 1 7 1 47 7			平成27年	度事業 予算額		犬況(単		千円			
②計画に	対する事業実績			川口于木		当初			H26	<del>、好の</del> から 繰越	τ.		
③達成物	犬況					補正							
	・非着手の理由			平成28年度	への繰越額(道	流用·充当			現4	年分			
				,,,,,,,	/ML-11K (-	_, , , , , , ,							

	3	<sup>2</sup> 成28年度	ケ谷市事務事	業評価:	表(事後)	(標準	評価表	<b>{</b> )					
事系	务事業名	1	臨時福祉給付金	金に要す	<sup>-</sup> る経費	会計 一般	款 項 3	i 目 1	多額 経費 1				
	政策	11誰もが優	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります										
	施策	115	安心して暮らせ	る社会の	保障の充	実		担当課室長	髙橋	徹			
I 改革	· 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ためのフ	5策)								
①のでた ②基取結 回価げ容にくみ	平成27年8月 材確保、シス 平成27年8月 確保、システ 給することが	からの申請開始 テム整備等を行 からの申請開始 ム整備等を行し できた。	台に向け、人 デ <b>う</b> 。 台までに人材	③平度に	で成28年 取組む ・改善	害・遺	族年金	皆向け給付金、8月に障 金受給者向け給付金及 付措置の支給を行う。					
Ⅱ事務	いま こうこう シェスティング シェスティ アイス	17-2											
①目的	対象	平成27年1月1日基の住民基本台帳に 市民税の均等割か では26年4日の	二記録されており、	するのだ	•		こ、消弱	費の下	支えを	図る	0		
-	事業の概要		が 応を行うまでの										
からの状況	分析(事業開始 兄変化や今後の 「民意向など)	申請や給付時	期は、各自治体	で決め	ることにク	なるので	で、自治	6体間7	で時期だ	が異	なる。		
Ⅲ事務	事業の成果や	ゥコストの状況											
①平成2 業の成身	7年度の事 果	申請書発送人	数のうち、77.6%	6の申請	者に給付	寸金をえ	支給する	ることだ	ができ <i>た</i>	٥.			
②成果		指标	票名称	平成 年度	25 平成26 年度	平成27 年度	単位	単位 第					
を表す	i	申請書発送人	数		_	17,413			務取得				
指標	ii	申請者数			_	13,518		業務耳					
	iii	支給者数				12,917		業務耳					
		平成26年度決算				(事業費		な内訳	半成28				
事業費(		186,744		金額	(千円)	ᄥᄆᄀ	<u>内容</u>	E人位			4,670		
	出金(千円)	186,744	97,655			職員手				38	34,670		
	出金(千円)					郵送料、 臨時福							
	その他(千円)				11,322	临时作	<b>ヨ↑</b> 止ホロ 1	初並					
	<u>i•検討</u>	- b :	> =+ == · -			11.5			L1 _L - 1 -		\		
①課題(	目的に対す	がある。	ら申請開始を				者へ <i>0</i> .	)周知征	敦底をは	<b>当る</b> 』	必要 ———		
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	<u>3高い</u> 3高い	iii 公平 iv 効率		3高い 3高い		v 総合	評価 63	情査	∙検証		
③上記記	平価の理由		なるため、よりタ		すい申請		に努め	るととも	に、適	切か	つ迅		
V 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画」におけ	ける達成	状況								
①平成2	7年度の計画			計画事業	平成27年 <sub>豊</sub>	度事業 予算額		犬況(茸	位;千 決算				
②計画に	対する事業実績			川口于木	R	当初			<b>八</b> 昇 H25かり の繰起	ò			
③達成物	大況 大況					補正		1					
	・非着手の理由				- 45.14	流用·充当			現年分	J`			
				平成28年度	への繰越額(単	位;千円)							

平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
事務	生活保護に	に要する経費						款 3	項 3	目 2	多額経費			
	 政策	 11誰もが優	建康に暮らせる	生》	 厓福祉礼	±会を1	 つくりま		L ≩福	业課	<u> </u>			
	———— 施策	115	 安心して暮らせ	る	社会保障	 障の充	 実		担当課室長	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■				
1 改革	・改善内窓(=	=事務事業をよ	り良く宝施する	t-x	カの方き	6)			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
1 のでた ② 基取結果	平成27年4月 度が施行され 果的な運用を 生活困窮者に 立に結びつれ 護制度の利	より生活困窮者 1、生活保護制力	③平成28年 度に取組む 第者自立さ					月より施行された生活困 援制度と生活保護制度 き続き効果的な運用を						
	事業の目的・		.20.02120											
1目的	対象	生活保護受給	世帯		図(対象 るのか)	をどう	自立支	妊援						
②事務事	事業の概要	生活に困窮する的、精神的自立	Zを支援する。			- 1.2 -			·				,	
からの状況見込み・市	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	少しない傾向に	ない高齢者や就											
<u>Ⅲ 事務</u>	事業の成果や	やコストの状況												
①平成2 業の成身	7年度の事 昊	平成28年3月3 参考資料のとお		世	帯が生	活保護	からの	自立を	果たし	た(	詳細	lは5	引添	
②成果		277.	票名称	平成25 平成26 平成27 <b>半</b> 年度 年度 年度 年度			単位							
を表す	İ	生活保護受給	世帯		921	951	The states will							
指標	ii	年間訪問件数	L U & =L == 1/1 \ \(\pi\)		3,260	回	│業務取得 │業務取得							
② 声 改 i	 	年間の一件ある			3.53	4.16		口			took	一曲	マケ	
事業費(				平成27年度決算(事業費) 金額(千円)				内容	4円訳	平凡			<u> ア昇</u> 7,516	
	<u>F円)</u> 出金(千円)	2,171,416 1,886,132	2,244,850 1,874,694				扶助뢷					,54	,010	
	出金(千円)	46,722	44,772											
	その他(千円)		,											
一般則	才源(千円)	238,562	325,384								2	,347	7,516	
IV 評価	· 検討													
①課題(る現状な	目的に対す	保護世帯の増 り、景気が上向		加	傾向に		ったが、	.近年(	は高齢	化の	影響	¥ŧ.	あ	
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性			公平性 効率性				v 総合	評価	6精	查•	検証	
	呼価の理由	景気の動向に。 の上に自立の」	見込みが低いた	<b>-</b> &	、今後	も保護								
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画』におけ	ける										
①平成2	7年度の計画			計i	平) 画事業費		度事業 予算額		)状況(単位;千円) 決算額					
②計画に	対する事業実績						当初 H26⇒27繰越		H26から の繰越					
③達成物	<b>犬</b> 況						補正		1					
	・非着手の理由			平成	t28年度への	)繰越額(単	流用·充当		<u> </u>	現立	丰分			